

蠟梅 Now

9月に、野田総理率いる内閣が発足した。小泉内閣以降、5年間で安倍、福田、麻生、鳩山、菅とほぼ1年刻みで首班交替を見た結果である。発足時の内閣支持率は歴代5位の65%とまずまず。が、10月初めの日経新聞の世論調査によると58%に低下。内外に課題は山積する。最優先の東日本大震災からの復旧・復興、そしてキーワードを挙げれば、金融不安、財政破綻、為替不均衡、増税、社会保障、環境保全、**少子高齢化**、などなど……。快刀乱麻の如き働きを期待し、切れ味の良さをこれから望むところだが、さて……。さしあたり、黙々と取り組もうとする姿勢には好感が持てる。

内閣	支持率
小泉(2001年4月)	87%
鳩山(2009年9月)	75
細川※(1993年8月)	72
安倍(2006年9月)	70
野田(2011年9月)	65
菅(2010年6月)	64

※は面接方式、それ以外は電話方式。()内は発足年月

国連の予測によると、世界の人口が10月にも70億人を、25年には80億人、そして今世紀末には100億人を超えるという。人口は先進国では安定しているが、発展途上国、特にアフリカ諸国やインドで急増する見通し。70億人達成のカウントダウンを始める催しの報道自体は他愛のないものだが、そこに潜む国際社会の課題として、人口増加の大部分が貧困地区に偏っているため、飢餓や貧困、環境問題が一層深刻さを増す可能性がある。

人口の増加に伴い、土地や水、エネルギーなど限りある地球資源をより多くの人で共有しなければならないだけでなく、増加速度をこのまま抑制できなければ地球の生態系が崩れ、人類滅亡の危機に瀕する可能性さえあるという。

フェニックスの如く、がんばろう 日本!

そして、さて、どう対処する……?

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、昨年よりは凌ぎやすかった夏を無難に乗り越え、来る時に備えて体力の増強、温存に努めてきたものと思う。

黄葉が始まり、やがて寒気の到来に連れて落葉が進み、残された枯れ枝の如き寄る辺に、いずれ芳しい香りを放つ花になる、可憐で透き通った黄色の蕾を結ぶ。

地球温暖化に対する関心が低下しているかの如く、話題性に乏しいように見えるが、残念ながらその進行を止めるものはなさそうである。さて、今年の開花も越年をしないで、師走に観られるのだろうか?



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸

事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ffk.or.jp

URL : http://www.npo-ffk.or.jp